

+

平成 28 年度 事業報告書

第 51 期 〔 自 平成 28 年 4 月 1 日 〕
〔 至 平成 29 年 3 月 31 日 〕

一般財団法人 日本自動車査定協会

第51期 事業報告書

概況

平成28年度（平成28年4月～平成29年3月）の我が国経済は、個人消費に足踏みが見られ、また、訪日客の鈍化によりインバウンド需要も頭打ちの状況の中で、先進国の着実な経済成長と新興国経済の回復など、好調な海外経済を背景にして輸出や生産が堅調なことから、企業収益や業況感が改善し設備投資も緩やかな増加基調となるなど、緩やかな回復基調が続いた。このため、2012年12月に始まった景気拡大局面は戦後3番目の長さになっている。平成29年3月の月例経済報告では、「景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。」となっている。なお、今後政府によるインフラ整備を中心とした公共投資の増加が内需押し上げへの期待などもあり、日銀は平成29年4月、足元の景気を「緩やかな拡大に転じつつある。」と従来の「緩やかな回復基調。」から強い表現に変更している。

このような中、平成28年度の国内の登録車及び軽自動車の新車の総販売台数は、前年度比2.8%増の5,077,856台となり、1年度振りに500万台に回復した。このうち、登録車は、3,357,933台、軽自動車については5.1%減の1,719,923台と2年連続で200万台割れとなった。

一方、平成28年度の中古車市場は、登録車が前年度比101.4%の3,785,395台、また、軽自動車は前年度比99.4%の2,994,434台となった。

このような状況の下、当協会としては、自動車販売業界における中古車部門の重要性が高まる中、消費者に信頼される中古車査定制度の普及・浸透を主目的に諸事業を展開した。

販売店で利用されている中古自動車査定基準については、環境の変化に対応し適宜見直しを行っている。その結果について、全国各支所での研修会、講習会といった機会を活用し、周知徹底に努めているところである。

査定制度の充実、普及のためには、販売店における中古自動車査定士の資格取得者の増加を図ることが重要であることから、毎年2回の中古自動車査定士技能検定試験を実施している。平成28年度についても、6月、12月に実施したが、申請者は14,828名、前年比5.4%下回った。最近における自動車販売店の統廃合や社員の減少という環境もあるが登録査定士は平成29年3月末現在134,254名となり、前年と比べ105名増加した。これら査定士が、消費者の信頼を得る査定を行うための査定技能と知識の向上を目指すため、修復歴車の見分け方などを主題とした視聴覚教材『復元修理から学ぶ修復歴の発見・痕跡』（平成28年7月リリース）の作成を行うとともに各種教材の開発を行

った。また、7月1日に創立50周年記念行事として中古自動車査定士技能コンテスト全国大会を開催した。

販売店、信託会社等からの依頼により当協会職員が行う査定については、34,921台で前年同期比104.4%と若干増加した。また、消費者・ユーザーから依頼され、修復歴の有無について確認する車両状態確認証明事業は、5,667台で前年同期比110.3%と増加した。

オークション出品車両の事前検査事業の検査台数は77,098台と前年同期比101.8%とほぼ横ばいとなった。

また、商品中古車の確認証明申請台数は157,564台、前年比108.1%と増加した。

中古車輸出検査事業については、スリランカ、モーリシャス、タンザニア、バングラデシュなどを中心に、7,720台と前年度比47.0%となった。スリランカは、政策変更の影響を受けており昨年に続き減少傾向である。なお、多くの民間企業がこの分野にも進出していることや、東アフリカで輸出検査を義務付けている対象国が国際入札を実施していることもあり、今後当協会として対応の難しさが更に増すものと思われる。

このような中、協会の主要業務に成長した車両状態証明事業についても、検査台数が81,892台と前年比96.0%と減少した。

また、現在提供しているカーチェックシートのWEB版システム「カーチェックス」については、5メーカーで基幹システムと連動するシステムを構築し、メーカー主導で展開を図っている。全ての新車販売店での同システム導入の可能性が出てきており、今後とも協会主導により展開を図って行きたい。

当協会が発行する中古車に関連する参考書としての査定ガイド、価格情報誌であるイエローブック、シルバークック等の各種ガイドブックは、自動車販売関連企業の統廃合、社員の減少、経費の節減等から販売環境は厳しく、販売部数は減少しているが、参考資料として引き続き高い評価を得ている。世の中が紙媒体から電子媒体へ移行するなか、当協会の電子メディア「JAAI-Net」を通じて我が国で販売されている全ての自動車に関する型式・装備内容等の情報を提供しているが、平成28年度においても、迅速な情報の提供と内容の充実を図るとともに利用者の利便性も図っている。なお、特別加入促進キャンペーンを実施して会員獲得に努めた。

平成28年度の当協会事業については、各種事業を積極的に推進し、事業の合理化、経費の節減等に努めたところであるが、厳しい経済環境等もあり、公益事業は大幅赤字、収益事業は黒字、全体としては黒字の決算となった。

主要事業内容

1. 査定制度の普及、定着を目指す事業の推進

(1) 中古自動車査定士技能検定試験の年2回実施

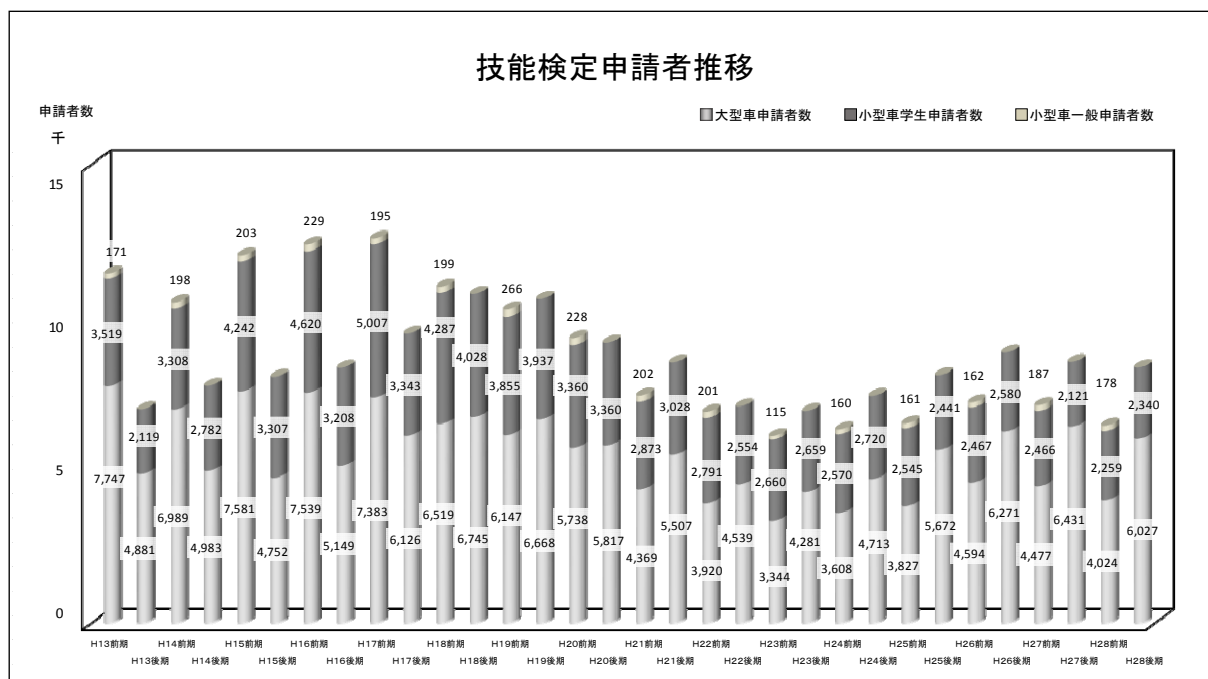
自動車市場の成熟化とともに自動車業界における査定制度の重要性がますます高まる中、当協会では技能検定試験受験申請者の受験機会拡大の観点から、平成8年度以降毎年、技能検定試験を2回実施し、申請者の利便性向上に努めてきた。

平成28年度においても6月に前期、12月に後期と年2回の技能検定試験を実施し、査定制度普及に努めた。

前期並びに後期の技能検定結果は、下表の通りであった。

	小型			大型	合計	前年	対前年比
	前期	後期	計	前期のみ			
申請者数	6,283名	8,367名	14,650名	178名	14,828名	15,682名	94.6%
(内学生)	(2,259)	(2,340)	(4,599)	(—)	(4,599)	(4,587)	100.3
受験者数	5,948	8,007	13,955	172	14,127	14,991	94.2
(内学生)	(2,117)	(2,253)	(4,370)	(—)	(4,370)	(4,410)	99.1
合格者数	4,816	5,906	10,722	166	10,888	11,497	94.7
(内学生)	(1,585)	(1,661)	(3,246)	(—)	(3,246)	(3,176)	102.2
合格率	81.0%	73.8%	76.8%	96.5%	—	—	—

平成28年度の受験申請者総数は14,828名となり、前年の15,682名を854名(5.4%)下回った。



小型車の通年合格率は76.8%となり、昨年の76.5%を0.3%上回る結果となった。平成29年3月末現在の登録査定士は134,254名で前年の134,149名を105名上回った。また、査定業務実施店数は7,827社で前年の7,906社を79社下回った。

(2) 中古車市場に対応した査定基準の見直し及び円滑な定着・促進

現行の査定基準について、昨年度作成した原案を基に問題点を抽出し再検討を行った。特に加減点基準における修復歴ランク係数の適用方法については「販売店が使用しやすいもの」を模索しており、原案についての変更案を全支所に説明を行った。さらに、販売店用査定基準と協会用査定基準の統合に合わせて加減点基準の見直しを行い、今後増加が見込まれる自動ブレーキ付車におけるセンサーやカメラの価格、フロントガラス交換にともなうエーミング（調整）費用等を考慮した加減点基準の変更案について、全支所に提案を行った。

(3) 適正査定のための査定士に対する研修および講習の充実

中古自動車査定士証の有効期間は3年と定められており、査定士証更新のための研修受講は登録を維持する条件となっている。この義務付け研修会は、平成28年度は全国各支所で467回実施され、34,350名が受講した。この中には実車を用いた研修会が49回含まれており、2,583名が受講した。

また、「写真で行う机上査定」の教材を使用して査定士証更新時の技能向上研修と併せて「特別講習」として積極的に研修した。

義務付け研修会以外に各支所単位では、支所が主催する研修会や販売店からの依頼による任意研修会を実施しており、その回数及び受講者は1,049回、13,776名となっている。最近では事故車（修復歴車）の見分け方のニーズが増加しているが、基本的な「車両の点検手順」あるいは「車両状態の表記方法」についての研修を要望したところもあるなど、実車を用いた研修が1,049回中953回と実車中心となっている。

(4) 中古自動車査定士技能コンテスト全国大会の実施

中古自動車査定士技能コンテストはこれまで査定制度をPRする絶好の機会として査定制度の普及と査定士の技能向上を目的として周年行事の一環で行なわれてきたが、隔年でのコンテスト実施を強く要望する声も多いことから平成25年の第6回となる全国大会より隔年で実施することとした。

第7回のコンテストについては、平成28年度に創立50周年記念を迎えることか

ら、1年間隔を延ばして、平成28年7月1日に第7回中古自動車査定士技能コンテスト全国大会を東京・品川プリンスホテルにおいて実施した。

この大会では、平成23年8月に完成した査定総合支援システム「カーチェックス」を使用しての初めてのコンテストとなった。出場選手は各支所の予選大会を勝ち抜いた52名の選手で競い合われた。最優秀査定士賞に輝いた2名はゼッケン番号が小さい選手へ経済産業大臣賞を、大きい選手へは国土交通大臣賞を授与した。

経済産業大臣賞を受賞したスズキ自販京都の潮彰選手へ製造産業局自動車課河野太志課長より手渡され、福島トヨペットの根本浩克選手へは国土交通大臣賞が自動車局自動車情報課長崎敏志課長より手渡された。その他に、理事長より理事長賞と、一般社団法人日本自動車販売協会連合会平井敏文副会長より自販連会長賞が両選手に手渡された。

(5) 業界が実施する中古自動車査定士技能コンテスト等への積極的協力

例年ホンダ自動車販売店協会並びに本田技研工業(株)では所属査定士の技能と知識を競い合うことを目的として全国コンテストを実施しており、当協会では予選段階からこれに積極的に協力した。都道府県レベルの予選会では、インターネットによる試験が実施されたが、当協会はその問題作りに協力し、ブロックレベルの地区大会並びに全国大会においても、学科試験問題の作成、実車査定の車種選定、正解作成、採点等において協力した。

また、スズキ(株)では今年度も代理店社員の査定技術向上の一環として、机上査定試験が行われ、全国で代理店81社、5,381名が受験した。当協会では、机上査定問題の作成及び採点でスズキ(株)に協力した。更にスズキ(株)では修復歴と外板の状態を正しく判断できる営業担当者にスズキ独自の査定士資格を付与するため、「スズキ認定査定士技能検定」を実施していることから、当協会では受験者の教育、試験車両の事前査定及び試験での協力を行った。

(6) 一般社団法人日本中古自動車販売協会連合会への研修協力

一般社団法人日本中古自動車販売協会連合会では会員の知識・技能の向上の一環として、平成23年度より「中古自動車販売士制度」をスタートさせた。その教育の中で当協会に修復歴車を含めた車両品質評価の研修依頼があり、平成28年度においては、全国で549名に研修を行った。

(7) 査定士のための各種研修用教材の開発

平成28年度から3年間使用する技能向上研修の教材は、技能向上研修用ノート

No.14（査定と痕跡）とし、一般財団法人日本自動車研究所にて車両を衝突させ修理する過程での情報も取り入れ改版作業を行った。

また、上記にて衝突させ修理を行った内容を収録した視聴覚教材「復元修理から学ぶ修復歴の発見・痕跡」は平成28年7月にリリースした。

(8) 一般消費者への査定制度PR

平成28年度は、当協会の業務内容については、ホームページの充実を図り広報する他、一般消費者に広く査定協会を広報するため、拡販グッズ（マグネットクリップ）の作成配布を行い、さらなるPRに努めた。

(9) 海外中古自動車事情視察団の派遣

平成28年7月13日～7月20日の日程で、スリランカ及びシンガポールへ中古車流通視察を当協会の役・職員及び関係事業者等で行った。

スリランカでのレセプションでは、関係大臣及び関税局長を招待して現在のスリランカにおける中古車輸入について情報及び意見の交換を行った。

また、両国で現地輸入業者と会談を行い、当協会の事業説明や輸出検査の重要性をアピールし、理解を得ることができた。

2. 中古車関連情報の適切迅速な提供

(1) 中古車価格情報内容の充実

平成28年度は中古車市場の変動が激しく、市場の変動が読み難い複雑な価格の動きとなった。こうした市場実態の把握が難しい局面が続いている状況の中、ガイドブック作成にあたり「中古車販売実績」「市場実態調査」「オークション情報」等幅広い情報を積極的に取り入れ、掲載価格が市場実勢と乖離することがないように努め、マーケットの状況を迅速にガイドブックの価格設定に反映した。

(2) 中古車ガイドブック発行方法について

販売店の統廃合、価格情報誌の増加やインターネットの普及などにより、当協会が発行する中古車価格ガイドブックの販売部数減少傾向が続いていることから、今後も購読者の利便を更に向上させるよう JAAI-Net などと連携した価格情報提供など拡販方法の検討を進めている。

また、拡販策として中古車ガイドブック、「シルバースタンプブック」と「イエローブック」を新規査定業務実施店に3ヵ月間無償配布するとともにガイドブックを幅広くPR

するようシルバーブックの一部掲載内容を「デジタルブック」として査定協会ホームページに掲載し閲覧できるようにしている。

(3) カーチェック・シート Web 版の活用及び普及

平成 23 年 8 月に査定総合支援システム「カーチェックス」を始動させてから、メーカー、ディーラーにこのシステムを活用して頂くため、各社を訪問しシステムの説明を行った。また、各地での合同説明会や個別販社説明会を積極的に実施した。その結果、販社からの強い要望も手伝って、平成 28 年度より更に 2 メーカーがメーカー主導での導入を決定した。これにより 5 メーカーが全国規模でカーチェックスを利用することになった。

(4) 査定参考文献について

「2016 年度の査定ガイド」

各メーカーより新型車が相次ぎ発売されたが、車種やグレードを特定するために型式指定番号と類別区分番号を手がかりとした情報を纏めて、すべての車種を漏れなく収載した。

また、仕様・装備品等も年々増加しており情報内容が複雑化したことから購読者の関心の高い装備品欄をより判り易く纏め、購読者の利便性の向上を図った。輸入車についても国産車同様に情報内容の充実に努めた。

発行部数の拡販に向けて、キャンペーンの展開等により積極的に PR した。

(5) JAAI-Net にて提供する情報内容の充実及び利用会員増加対策の強化

JAAI-Net による車種諸元情報・中古車価格情報の提供については、カーチェックスの車両情報にも使用することから、内容の充実を図るため、車種データの精査を行い、また装備品の種類を増やした。

自動車メーカー、自動車関係団体、損害保険会社等に対して積極的に JAAI-Net の利用を呼びかけた結果、前年に引き続き自動車メーカー 1 社、関係団体 1 団体に車種データを損害保険会社 1 社へは価格情報データを提供することができた。

JAAI-Net 会員数は平成 28 年度末で 479 企業、1,861 ID となった。

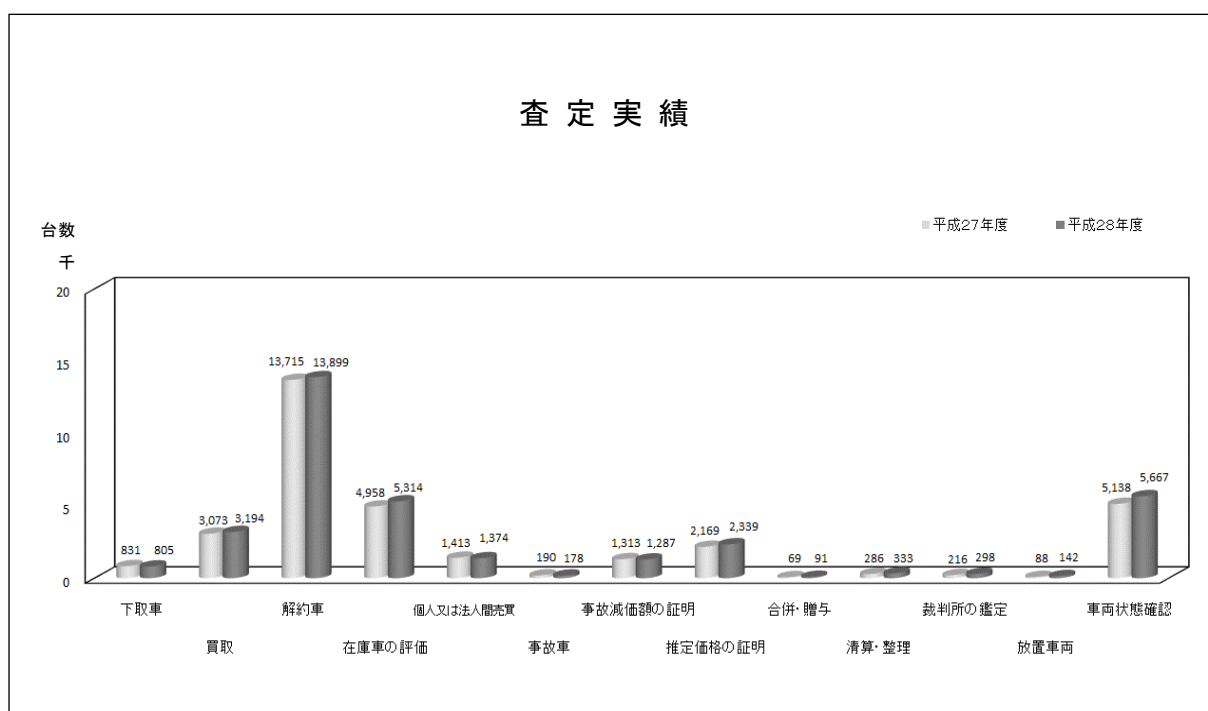
3. 査定協会職員による査定及び検査業務の適正な実施

(1) 査定業務の適正な実施

平成28年度の査定実績は、34,921台となり、前年比104.4%となった。

依頼目的別の集計では、「下取車」は805台で前年比96.9%、「買取」については3,194台で前年比103.9%であった。

依頼先区分別に見ると、「販売店」からの査定依頼が12,161台で前年比113.8%、専門店は前年比104.5%、一般ユーザーは前年比99.8%となった。



(2) 車両状態証明事業の積極的な実施

当協会では、平成28年度50支所で車両状態証明事業を実施し、検査台数では81,892台（対前年比96.0%）となり、平成20年度より累計で総検査台数が50万台（504,457台）を突破した。

また、認定検査員の育成では52名が合格し、累計合格者は1,248名となった。認定検査員制度は販売店における検査の内製化を促進し、検査費用のコストダウンと消費者からの中古自動車品質に対する信頼度向上の双方に貢献するため、今後も積極的に実施する。

車両状態証明書は、消費者に対して車両状態を的確に伝えることにより、取引の信頼性を向上させることを目的としており、この業務を当協会が実施することにより、中古車業界からの信頼向上に努めている。

(3) 中古車品質証明及び修復歴車判定業務の積極的な実施

当協会では、中古自動車の価格評価以外に、中古車取引において重要なファクターである修復歴車(事故車、事故歴車)か否かの証明を求められることも多く、そのようなケースでは「車両状態確認証明書」を発行して対応している。この「車両状態確認証明書」による証明業務は、平成13年度から実施しているが、毎年依頼台数が増加しており、社会のニーズにあった業務として確立されてきている。平成28年度においては、全国で5,667台(前年実績5,138台、前年比110.3%)の依頼があった。

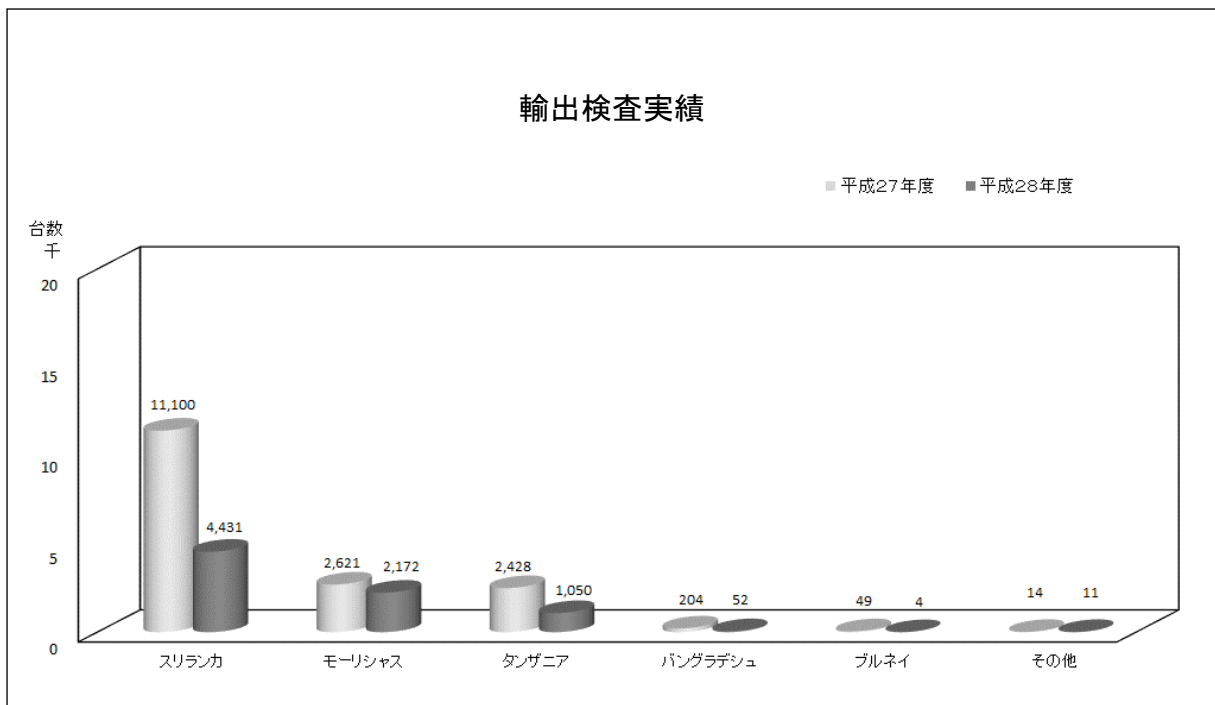
(4) 商品中古自動車確認証明業務の適正な実施

昭和61年度から実施している当業務は、長引く金利水準の低迷と経営環境の厳しい中、経費節減の観点から自動車販売事業者に浸透しており、平成28年度は158,833台(前年146,894台、前年比108.1%)の申請であった。

なお、全国の自動車販売店に還付された商品中古自動車の自動車税減免金額は、約14億4千8百万円となっている。

(5) オークション出品車両及び車両評価の適正な検査の実施

当協会では、オークション会場等から出品車両あるいは展示車両の検査業務を依頼されており、厳正な姿勢で検査を実施している。平成28年度は、新車販売台数の低迷の中ではあるが、77,098台(前年比101.8%)であった。



(6) 中古車輸出事業の海外へのPRと信頼される中古車輸出検査の実施

平成28年度の輸出検査台数は7,720台（前年比47.0%）であった。

その内、スリランカの検査台数は4,431台（前年比39.9%）、モーリシャスは2,172台（前年比82.9%）、タンザニアについては1,050台（前年比43.2%）となった。

(7) 個人所有の自動車の放射線量測定実施

福島原子力発電所の事故以降、放射線の影響を懸念している個人の方の自動車を対象に、当協会では平成24年5月より放射線量の測定を開始し、引き続き当協会HPで測定の案内を行っているが、平成28年度は全国で7台の測定依頼があった。

4. その他

(1) 50周年記念式典の開催及び記念誌「50周年の歩み」発刊

平成28年7月1日に東京・品川プリンスホテルにおいて、各方面の関係者等、約400人を招いて50周年式典を開催した。

開会にあたって、経済産業省 製造産業局 糟谷敏秀局長、国土交通省 自動車局 宮城直樹官房審議官、一般社団法人日本自動車販売協会連合会 平井敏文副会長（久恒兼孝会長のメッセージ代読）よりお祝いの言葉をいただいた。

乾杯の挨拶は一般社団法人日本中古自動車販売協会連合会 澤田稔会長よりいただき盛大に式典が行われた。最後に当協会相談役の中澤忠義顧問相談役より閉会の挨拶があり幕を閉じた。

また、10年ごとに発刊している年史を50周年にも「50周年の歩み」として発刊した。

(2) 協会内システムの充実

平成28年4月に協会版カーチェックスをリリースし、操作性等について支所からの意見・要望等を収集しディーラー版カーチェックスへフィードバックを行い、ディーラーへのシステムの定着を、今後も継続していく。また、査定証発行システム・経理システムとも連動し各支所の利便性の向上・業務効率化を図った。

平成28年7月に行った中古自動車査定士技能コンテスト全国大会採点のため、採点点数集計システム「集マッハ」を開発した。今後、業務の効率化を考慮し、支所大会で採点集計を行えるように改良するほか、報告書作成・賞状印刷等の機能を搭載し平成29年5月にリリース予定である。

(3) 協会職員の人材教育（経理担当者研修、査定・検査職員研修等）

① 査定長・検査長並びに担当者会議の開催

平成29年2月15日、16日の2日間に亘り全国査定長・検査長並びに担当者会議を開催した。主たる内容は、車両状態証明事業(V-CON) iPad版の追加機能、コンテスト大会結果集計システムの開発、研修用教材等について説明を行った。また、中古自動車査定基準〔I〕と〔II〕の統合及び加減点基準の変更案について説明を行い、その後、ブロックごとにグループディスカッションを行った。

② 職員研修会の開催

平成29年3月8日、9日の2日間に亘り全国査定職員研修会を開催した。

主たる内容は、実車を使用した査定を行いカーチェックに結果を入力し、注意点の確認及び説明を行った。また、カーチェック入力内容（V-CON プラス機能）を利用して V-CON 検査を行い「検査の目合わせ」を行った。

③ 経理担当者研修会の開催

公益目的支出計画の着実な遂行と新々会計基準に基づいた適正、的確な経理処理を行うためと、新経理システムを理解するため、平成29年2月2日に集合研修を実施した。また、より理解を深めるために平成28年7月から11月にかけてブロック毎の研修会を実施した。

(4) 諸会議の効率的な開催

諸会議の開催を効率的・効果的に進め経費及び時間の節減に努めた。

(5) 業務の効率的な実施による諸経費の削減

業務全般に亘って効率的な遂行を目指し、経費及び時間の節減に努めた。

(6) 関係諸官庁並びに自動車関係団体との緊密な連携と情報交換の実施

関係諸官庁並びに関係団体との連携を密にして、指導と協力を仰ぎ、情報の交換、資料の収集、社会経済情勢の把握に努め、事業の円滑な推進を図った。

(7) 個人情報保護法等法令順守への取組み

平成17年より当協会は個人情報保護法に対応するため、「基本方針」、「保護規程」、「情報セキュリティ実施要領」を定めているが、これまで以上に査定士技能検定試験、査定士管理、個別査定等の業務ごとに個人情報を尊重して厳正に業務に取

り組むよう徹底に努めている。

今年度も一般財団法人全日本情報学習振興会が主催する、個人情報保護士認定試験を希望者が受験し2名が合格し在籍取得者数は本部・支所含め24名となった。

また、個人情報保護に関する取り組み状況について、平成28年度も複数の支所を対象に業務監査を実施した。その結果、当該支所においては個人情報保護に対して厳正に取り組んでいることが確認できた。

第51期に開催した主な会議、講習会等

A. 理事会

第167回理事会（平成28年6月7日） 於「東海大学校友会館」

議 題

- (1) 平成27年度(第50期) 事業報告書(案) について
- (2) 平成27年度(第50期) 計算書類等(案) について
- (3) 事業報告書(案)・計算書類等(案) について監事からの監査報告
- (4) 公益目的支出計画実施報告書(案) について
- (5) 公益目的支出計画実施報告書(案) について監事からの監査報告
- (6) その他（理事・評議員候補の紹介・臨時理事会開催について）

第168回臨時理事会（平成28年6月22日） 於「東海大学校友会館」

議 題

- (1) 代表理事・理事長等の選定について
- (2) 理事会議長の順位決めについて
- (3) その他

第169回理事会（平成29年3月22日） 於「東海大学校友会館」

議 題

- (1) 平成29年度(第52期) 事業計画書(案) の承認について
- (2) 平成29年度(第52期) 収支予算書(案) の承認について
- (3) 第139回評議員会及び第170回理事会の開催日程について
- (4) その他

B. 評議員会

第138回評議員会（平成28年6月22日） 於「東海大学校友会館」

議 題

- (1) 平成27年度(第50期) 事業報告書について
- (2) 平成27年度(第50期) 計算書類等(案) について
- (3) 公益目的支出計画実施報告書（案）について
- (4) 評議員任期満了に伴う選任について
- (5) 理事・監事任期満了に伴う選任について
- (6) その他

C. 技能検定専門委員会

第126回技能検定専門委員会（平成28年5月18日） 於「メルパルク東京」
議 題

- (1) 第61回中古自動車査定士技能検定の試験問題について
- (2) その他

第127回技能検定専門委員会（平成28年7月14日） 於「メルパルク東京」
議 題

- (1) 第61回中古自動車査定士技能検定試験の合否について
- (2) その他

第128回技能検定専門委員会（平成28年11月7日） 於「メルパルク東京」
議 題

- (1) 第62回中古自動車査定士技能検定の試験問題について
- (2) その他

第129回技能検定専門委員会（平成29年1月16日） 於「メルパルク東京」
議 題

- (1) 第62回中古自動車査定士技能検定試験の合否について
- (2) その他

D. 査定基準価格専門委員会

第567回	平成28年	4月15日	於「東郷記念館」
第568回	平成28年	5月20日	於「東郷記念館」
第569回	平成28年	6月17日	於「東郷記念館」
第570回	平成28年	7月15日	於「東郷記念館」
第571回	平成28年	9月16日	於「東郷記念館」
第572回	平成28年	10月20日	於「東郷記念館」
第573回	平成28年	11月18日	於「東郷記念館」
第574回	平成28年	12月16日	於「東郷記念館」
第575回	平成29年	1月20日	於「東郷記念館」
第576回	平成29年	2月17日	於「東郷記念館」
第577回	平成29年	3月17日	於「東郷記念館」

E. 輸出検査特別委員会

平成28年12月2日

於「品川プリンスホテル」

F. 査定士技能検定試験

第61回	平成28年	6月15日	大型	受験者数	172名	
		平成28年	6月19日	小型	受験者数	5,948名
第62回	平成28年	12月14日	小型	受験者数	8,007名	

G. 全国支所長会議

平成28年7月1日 於「品川プリンスホテル」

議 題

- (1) 平成27年度(第50期) 事業報告について
- (2) 平成27年度(第50期) 計算書類等について
- (3) その他

平成29年2月23日 於「東海大学校友会館」

議 題

- (1) 平成29年度(第52期) 事業計画(案)について
- (2) 平成29年度(第52期) 予算の考え方について
- (3) その他

H. 運営企画委員会

第272回運営企画委員会(平成28年6月7日) 於「東海大学校友会館」

議 題

- (1) 平成27年度(第50期) 事業報告書(案)について
- (2) 平成27年度(第50期) 計算書類等(案)について
- (3) 公益目的支出計画実施報告書(案)について
- (4) 平成29年度中古自動車査定士技能検定試験実施日程について
- (5) 輸出検査開拓費について
- (6) その他

第273回運営企画委員会(平成28年12月2日) 於「品川プリンスホテル」

議 題

- (1) 最近の状況について

- (2) 平成 29 年度(第 52 期) 事業計画及び予算編成の考え方(案) について
- (3) 各分科会の審議状況・予定について
- (4) その他

第 274 回運営企画委員会 (平成 29 年 3 月 22 日) 於「東海大学校友会館」
議 題

- (1) 平成 29 年度(第 52 期) 収支予算書(案) について
- (2) 平成 28 年度各分科会の活動報告について
- (3) 平成 29 年度各分科会の活動計画について
- (4) その他

I. 全国査定長・検査長並びに担当者会議

平成 29 年 2 月 15 日～16 日 於「メルパルク東京」
議 題

【第 1 日目】 出席者 76 名

- (1) V-CON 推進分科会からの報告
- (2) 教材分科会からの報告
- (3) 調査課・情報システム室からの報告
- (4) 中古車流通支援センターからの連絡
- (5) 業務課からの報告

【第 2 日目】 出席者 72 名

- (1) 査定実務分科会からの報告
- (2) グループディスカッション

J. 第 7 回中古自動車査定士技能コンテスト全国大会及び 50 周年記念行事

平成 28 年 5 月 25 日 コンテスト運営委員会正副委員長会議 於「品川プリンスホテル」
平成 28 年 6 月 30 日 コンテスト選手激励会 於「品川プリンスホテル」
平成 28 年 7 月 1 日 コンテスト全国大会 於「品川プリンスホテル」
平成 28 年 7 月 1 日 創立 50 周年記念式典 於「品川プリンスホテル」

K. 運営企画部会

平成 28 年 6 月 7 日 於「東海大学校友会館」
平成 28 年 12 月 2 日 於「品川プリンスホテル」
平成 29 年 3 月 22 日 於「東海大学校友会館」

L. 査定実務分科会

平成28年 4月13日～14日	(第1回)	於「本部会議室」
平成28年 5月12日～13日	(第2回)	於「本部会議室」
平成28年 7月26日～27日	(第3回)	於「本部会議室」
平成28年 9月 6日～ 7日	(第4回)	於「本部会議室」
平成28年10月24日～25日	(第5回)	於「本部会議室」
平成29年 1月12日～13日	(第6回)	於「本部会議室」
平成29年 2月 7日～ 8日	(第7回)	於「航空会館・本部会議室」

M. 教材分科会

平成28年 4月11日～12日	(第1回)	於「本部会議室」
平成28年 5月23日～24日	(第2回)	於「本部会議室」
平成28年 6月20日～21日	(第3回)	於「本部会議室」
平成28年 7月 5日～ 6日	(第4回)	於「日立ドキュメントソリューションズ」
平成28年 8月22日～23日	(第5回)	於「本部会議室」
平成28年 9月26日～27日	(第6回)	於「航空会館」
平成28年11月 8日～ 9日	(第7回)	於「航空会館」
平成29年 1月17日～18日	(第8回)	於「本部会議室・航空会館」
平成29年 2月 6日～ 7日	(第9回)	於「本部会議室」

N. 査定基準価格分科会

平成28年 4月 4日～ 5日	(第1回)	於「本部会議室」
平成28年 6月 2日～ 3日	(第2回)	於「本部会議室」
平成28年 7月 4日～ 5日	(第3回)	於「本部会議室」
平成28年 8月 2日～ 3日	(第4回)	於「本部会議室」
平成28年 8月31日～9月1日	(第5回)	於「本部会議室・横浜」
平成28年10月 4日～ 5日	(第6回)	於「本部会議室」
平成28年10月31日～11月1日	(第7回)	於「本部会議室」
平成28年11月30日～12月1日	(第8回)	於「本部会議室」
平成29年 2月 1日～ 2日	(第9回)	於「本部会議室」
平成29年 3月 1日～ 2日	(第10回)	於「本部会議室」

+

O. 輸出検査実務分科会

平成28年 9月13日～14日 (第1回) 於「本部会議室」

P. V-CON推進分科会

平成28年 4月19日～20日 (第1回) 於「本部会議室」

平成28年 7月28日～29日 (第2回) 於「本部会議室」

平成28年10月19日～20日 (第3回) 於「大阪」

平成28年12月15日～16日 (第4回) 於「航空会館」

平成29年 1月23日～24日 (第5回) 於「本部会議室」

Q. システム分科会

平成28年 4月25日～26日 (第1回) 於「本部会議室」

平成28年 7月19日～20日 (第2回) 於「本部会議室」

平成28年 9月28日～29日 (第3回) 於「本部会議室」

平成28年11月15日～16日 (第4回) 於「本部会議室」

平成29年 1月25日～26日 (第5回) 於「本部会議室」

R. 輸出検査入力システムWeb化会議

平成28年11月10日 於「愛知」

S. 中古車流通支援事業車両検査基準作成会議

平成28年12月 1日 於「航空会館」

T. 職員の研修会

(1) 新任事務長研修会

平成28年5月9日 参加者17名 於「品川プリンスホテル」

(2) 全国経理担当者研修会

平成29年2月2日 参加者65名 於「東京グランドホテル」

(3) 全国査定職員研修会

平成29年3月8日～9日 1日目 参加者67名 於「メルパルク東京」

2日目 参加者65名

+

(4) V-CON本部研修・資格試験

平成28年 6月 6日	参加者 1名	於「本部会議室」
平成28年 9月12日	参加者 2名	於「本部会議室」
平成29年 3月10日	参加者 8名	於「本部会議室」

U. その他

第51期に作成した主な出版物

『査定ガイド』

(2016年版)